

国産材利用

政策強化を

LWCPC

木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会(LWCPC)、原口博光会長は11月14日、木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟(衛藤征士郎会長)との合同会議を衆議院第一議員会館で開催し、林業・木材産業が抱える現状の問題点や課題をまとめた要望書を議員連盟に提出した。会議には同議連から衛藤会長、太田昭宏最高顧問らが出席したほか、内閣官房、農林水産省、国土交通省、経済産業省など関係8省庁の担当者25人も参加した。

議連へ要望書提出

原口LWCPC会長は、住宅・林業・木材関連産業政策として、日本産材の利活用で「2050年カーボンニュートラル」に向けた低炭素社会実現を目指すとともに、「未来社会のデザイン」となる▽森林の管理・保全・活用▽再生可能な資源として家具、建具など木材製品の利用▽戸建て住宅、中高層住宅、非住宅への日本産材利用などを提案した。

特に、政府の産業政策の中で合板、繊維板、製材などの国産材(地域材)の利用促進を明確に位置付けること、林業・木材産業の長期的・持続的発展への施策の推進を訴えた。

林業分野からは、中国木材の堀川智子会長が「ウッドショックとコロナによる混乱で、自給率40%強のわが国は木材の国際競争に巻き込まれ、ウッドショックが二度と起らないようにするため、国産材の伐採強化と大規模な製材・加工工場の建設が必要」と提案した。

このほか具体的な施策として▽バイオマス発電の建設促進とFIT(電力の固定価格買い取り制度)の維持▽資源量が豊富で日本の風土に適したスギ材の利用PR▽苗場の育成、植林後の鳥獣被害対策と処理施設の整備などを訴えた。



古畑道和常務



堀川智子会長



衛藤征士郎会長



原口博光会長

合同会議



や、小径木など択伐材を家具材として生かす取り組みを建築家やデザイナーと行っていることなどを紹介した上で▽国産材活用の裾野を広げるため、国産材家具の購入に補助金や助成金の制度創設▽使用を終えた家具の引き取り料金や所有権などで再生しやすい法整備などを訴えた。

また「家具は修理や改造によって世代を超えて利用できる家の文化財。心のよどころになりつつあり、メンテナンスしやすい仕様の商品開発、再生のために修理技術を持つ職人の育成への支援策が求められている」とする要望書を提出した。

このほか各団体から▽難燃剤処理木材の実態調査と公表▽国産材使用の窓サッシに対する助成金▽林道整備費や搬出用電動運搬車への助成▽心と体の健康住宅の開発と普及▽公共建築物の木造

化促進へ性能発注方式への切り替え▽海の森づくりへ大型海藻の栽培養殖事業支援と、小中学校の副読本配布への支援などの要望が出された。

YUKOKATO トレファト

インテリアファブリック製品のECサイトを運営するトレファト(東京都目黒区)は11月29日、デザイナーYUKOKATO KATSUKI(香月裕子)氏デザインのカーテンやクッションなどの新作製品を同社ECサイトで発売した。

「ふわふわモビール」と「きらきらモビール」

